

# ながさき伝統野菜「雲仙こぶ高菜」で地域活性化 ～世界に羽ばたく地域の宝で『食の文化遺産』を目指す～ 農事組合法人守山女性部加工組合

## <事業者の概要>

- ・所在地 : 長崎県雲仙市吾妻町
- ・代表者 : 馬場 節枝
- ・取組内容 : 農産加工品の製造、販売
- ・売上高 : 1,550万円 (H26)
- ・雇用者数 : 8名 (H26)
- ・URL : <http://www.k5.dion.ne.jp/~kobu/>



雲仙こぶ高菜まんじゅう



## 【取り組むに至った経緯】

- 母から娘へ継承されてきた郷土の味とおふくろの味を後世へ伝えたいという思いから、昭和62年に守山女性部加工組合を設立し、農産加工・直売所を開設した。我が子をアレルギーから守りたいという女性の視点で、無添加物の商品開発を実施し、製品の強みになっている。
- 雲仙市に伝わる希少価値の在来種「雲仙こぶ高菜」の保存や復活のため、「雲仙こぶ高菜再生プロジェクトチーム」が結成され、それを機に平成18年より「雲仙こぶ高菜」の加工販売を開始した。

## 【取組の効果】

- 売上高  
1,249万円 (H19) → 1,550万円 (H26)  
【雲仙こぶ高菜の売上高】  
76万円 (H19) → 911万円 (H26)
- 主な原材料生産面積(雲仙こぶ高菜)  
5a (H15) → 110a (H26)
- スローフード協会国際本部(イタリア)から日本で唯一、スローフードの最高位『プレシディオ』の認定を受ける。

## 【取り組む際に生じた課題と対応方法】

- 「雲仙こぶ高菜」は交雑や低収量の問題により衰退し、生産量が減少  
→交雑防止のため採種を特定の者にのみ認めること、化学肥料、合成除草剤、化学農薬の使用を禁止などの生産規定を細かに定めることで、安定して生産ができるようになった。

## 【今後の展望】

- 『プレシディオ』はヨーロッパでも認知されていることから、輸出に取り組み、販売拡大を図る。

## 農事組合法人守山女性部加工組合

ながさき伝統野菜「雲仙こぶ高菜」を守り育むことで  
農業所得向上と地域活性化を目指す！

生産規定を定め栽培  
(生産者12名)

食育やグリーンツーリズム等の取組も実施

地元での販売とバイヤーを通じた輸出

<生産部門>  
・「雲仙こぶ高菜」

<加工部門>  
・雲仙こぶ高菜入りヘルシーからあげ  
・雲仙こぶ高菜まんじゅう 等

<販売部門>  
・直売所  
・インターネット  
・朝市 等

・旅館、ホテル  
・給食センター

販売

バイヤー

・百貨店  
・イタリア、オランダ(輸出)

生産管理

雲仙市伝統野菜をはぐくむ会